

株式会社アルプロン

**水稻栽培における中干期間延長
取組紹介**



島根県雲南市にある「プロテインメーカー」



全国 約1万店舗で当社製品を取り扱い



くすりの福太郎



なぜ？

**プロテインの会社が
「農業のカーボンニュートラルを行うのか？」**

当社が対峙する社会課題

＜ プロテインクライシス ＞

2030年
「たんぱく質」の需要と
供給のバランスが崩れる。



＜ カーボンニュートラル ＞

2030年
温室効果ガス50%削減

2050年
脱炭素社会の実現

2024年

- 1月** 社内に農業/酪農分野のカーボンニュートラル化を促進する「専門チーム」発足
- 2月** 農家さんに対し「説明会開始」
- 4月** 雲南市と「農業/酪農分野における脱炭素化」及び「J-クレジット創出」に関する協定締結

4月

雲南市の協力のもと「水稻栽培における中干期間延長プロジェクト」参加者が内定

＊ 20農業法人 + 18個人

＊ 210ha

（雲南市155ha 奥出雲町45ha 飯南町10ha）

＊ こしひかり、きぬむすめが中心

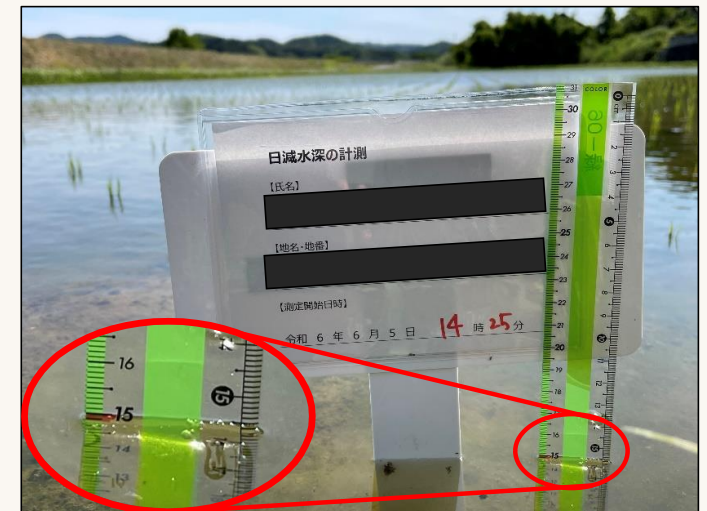
4月

排水性の測定

＊ ものさしを活用

＊ アナログ的な計測は手軽さ

⇒将来的にはデジタル化を検討



5月 田植え

6月 中干期間延長の実施

- ＊ 開始日の前に農家さんと当社で撮影場所/方法の確認
- ＊ Lineやメール等で写真データを送信



7月 データ取りまとめ

9月 プロジェクト登録準備及び申請

- * 審査機関3社に見積もり依頼**
- * 2社より見積もり返答**
- * 当社と相性の良さそうな審査機関と契約**
- * 島根(当社本店)にて審査機関による審査**
- * 半日程度の審査**
- * 審査書類作成難易度：低**

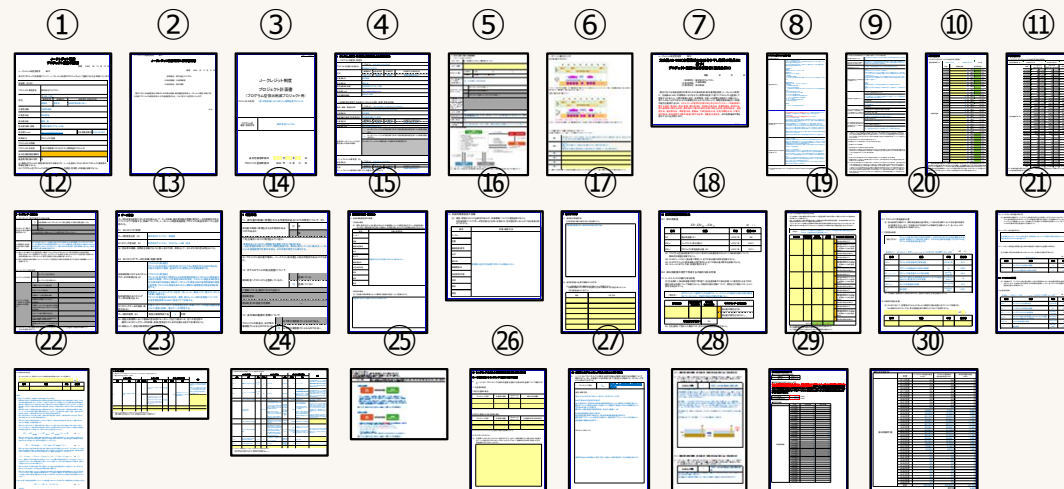
10月

プロジェクト登録完了

12月

妥当性確認審査準備及び審査

- * プロジェクト登録と同じ審査機関と契約
- * 島根(当社本店)にて審査機関による審査
- * 半日程度の審査（書類に関する質問と現地確認）
- * 審査書類作成難易度：高



**2025年
3月**

第64回J-クレジット審査委員会に書類提出

*** 12月の審査機関による保証を付け申請**

メタンガス削減量：385t-CO₂

参加した農家さんの声

① 猛暑の要因である温室効果ガスの削減、興味はあったがやり方がわからなかった

**今回参加して、今までの延長線上にあるやり方なので簡単にできた
環境改善に参加でき嬉しかった！**

② アルプロンの担当者が頻繁に情報提供してくれたので、やりやすかった

⇒島根に本プロジェクト専属社員2名配置し農家さんとコミュニケーションを頻繁にとる体制

③ 中干期間延長で栽培した**お米に付加価値のつけ方**を一緒に考えていただいた

⇒アルプロンは農家さんと一緒に「**出口戦略**」を考えます

本プロジェクトでフォーカスしたポイント

**環境配慮
(GHG削減)** × **収益倍増
(農家さん)**

2023年度(2023年4月～2024年3月)を基準年とし、5年で倍増を目指す
お米の出口戦略だけでなく、農業アセットと企業ニーズをマッチングさせることで、
収益UPにつなげていく予定

サプライチェーン内で協力体制の構築を目指す

